

## 第七号 発刊の挨拶

会長 二宮修二

二千十九年五月には天皇が代替わりしたことにより、新しく「令和」の年号になりました。何か新しい気持ちを持って、新しいことを考えたり、新しい方向に向かったりすることもいいのではないかと考える一方で、まだまだ、これまでに解明されていないことも沢山あるのもっと歴史を見つめていかなければならないと思っています。

今回も、会としては、郷土の一つの事柄を、会員みんなが力を合わせて、研究し解明していこうと考えましたが、できた部分もあるし、もっと改善しなければならぬ部分もあったと思います。

今回研究対象としたのは、谷、篠原の「大將軍神社」でしたが大変特徴のある神社で興味のわく対象だったと思います。しかし、一つは、谷が江戸時代には熊本藩であったので、残念ながら資料を得にくかったということがありました。大將軍のことについて神社関係の地区の人たちに尋ねに行ったときは貴重な話を聞かせて下さいます。有難く思っています。

また、今回は、農業用水路についても、会員から稿を寄せていただき、一層充実したものになったと思います。

新年号「令和」のもと、会員一同、今後も、郷土史解明に力を尽くしたいと思います。